

2023年11月8日

神奈川県  
環境農政局 環境部 資源循環推進課 御中

## 「神奈川県循環型社会づくり計画（改定素案）」への意見

生活協同組合パルシステム神奈川  
理事長 藤田 順子

私たちパルシステム神奈川は、「生命（いのち）を愛（いっく）しみ、自立と協同の力で、心豊かな地域社会を創り出します」を理念とし、安心して暮らせる社会をつくるために神奈川県内で事業活動を行なっております。当組合では、組合員・生産者・メーカーとともに、容器包装の削減や独自の物流システムを活用したリユース・リサイクルなど、環境負荷の低減に長年にわたり取り組んできました。

今回、意見を募集されている「神奈川県循環型社会づくり計画（改定素案）」とも歩調をあわせ、資源の使用にかかわる環境負荷の低減や、豊かな環境の恵みを享受できる社会づくりに貢献したいと考えております。より良い計画づくりのため意見を提出させていただきます。

■該当する項目・ページ：V. 2. 大柱 I 「資源循環の推進」（24 ページ）

### 【リユース】

大柱の一番目として、「最も重要な2R（リデュース・リユース）の取り組みを重点的に推進し・・・」と記載されていますが、その後の記述において、具体的なリユースの取組み事項は、「かながわりユースショップ認定制度の普及啓発」などに限られ、「最も重要な2R」の推進策として乏しいと感じます。

リサイクルショップや、フリマアプリの普及と共に、リユースへの抵抗感が薄れつつある傾向が、民間の「消費行動とリユース品への価値観に関する調査」（2023年 株式会社コメ兵）などでも報告されており、リユースを受け入れる土壌が築かれつつあると感じます。

一方で、牛乳びん、ビールびん、ウォーターサーバーのガロン缶のような、日常的に流通・消費されている商品容器のリユースはどんどん減少しています。社会全体で日常的に消費されるモノのリユースを推進しなければ、プラスチックなど資源の使用量抑制や、廃棄物削減を実現するのは難しいと考えています。

県民の中でリユースを受け入れる土壌が出来つつある今、メーカーや地域の店舗と協力し、商品容器を回収してリユースする仕組みづくりを支援するなど、もう一步踏み込んだ具体的なリユース施策の実施をお願いいたします。

■該当項目・ページ：V. 2. 大柱 I - 2 (1) 「質の高いリサイクルの推進」(27 ページ)

【リサイクル】

文中に「リサイクルが困難であり、やむを得ず焼却処理する場合には、熱回収によりエネルギーとして有効利用します。」という記載がありますが、熱回収に回されるモノを減らし、リサイクルできるモノを増やすために県民が出来る事はないでしょうか。

県民の多くは、資源回収に出したプラスチック包装容器のほとんどがリサイクルされずに熱回収されているという実状を知らぬまま、プラスチック類を出していると思います。リサイクルできる量を増やすため、この課題をもっと知らせていくべきだと考えます。例えばパルシステムでは、唯一取り扱っているペットボトルの容器包装商品は飲料水 1 品のみで極力プラスチック容器排出を抑える努力をしています。そのペットボトル容器は 100%再生原料を指定し、ボトル to ボトル (水平リサイクル) を実現しています。さらに、販売したペットボトル容器の 100%回収を目指し取り組んでいます。どのような課題があって熱回収にまわしているのか、どのような出し方をすれば熱回収ではなく、マテリアルリサイクルが可能になるのか、さらに水平リサイクルまでもっていけるのか、具体的な事例を示しながら、県民への啓発をすすめてください。

■該当項目・ページ：VI. 1 「県民、事業者、市町村、県の役割分担と協働」(43 ページ)

【役割について】

文中に、「各主体がそれぞれの役割を果たす・・・」と記載があり、「(1) 県民の役割」には商品の選択から、廃棄物の排出にいたるまでの県民の役割が記載されています。県民ひとりひとりがこのような役割に意識をもって取り組むためには、事業者の協力、市町村からの啓発、そして、誰もが気軽に取り組めるしくみづくりが必要不可欠です。

積極的に取り組む県民や事業者へのサポートやインセンティブ、市町村への補助なども含め、より具体的な計画の検討をお願いいたします。

■該当項目・ページ：V. 2. I - 2 「再生利用等の推進」(27 ページ)

【紙のリサイクルについて】

今回の改定素案では、紙のリサイクルについての課題や施策の記述がほとんど見られませんでした。横浜市が令和 4 年に実施した「家庭から出される燃やすごみの中身」調査結果によると、家庭から出される可燃ゴミの中身は、紙類：28.5% (うち古紙 10.9%) と報告されており、可燃ごみにこれだけ多くの紙類が含まれている事は大きな課題だと感じます。特に古紙 (10.9%) は、分別できれば資源の有効利用と可燃ごみ削減につながります。県民への啓発など、古紙リサイクルにつながる取り組みをお願いいたします。

また、内側にアルミが貼られた紙パック (AB パック) などは、同じ県内でもリサイクル資源になる地域とならない地域に市町村で分かれています。市町村と協力して地域での差を小さくし、県全体でリサイクルできる素材を増やす施策の推進をお願いいたします。

以上